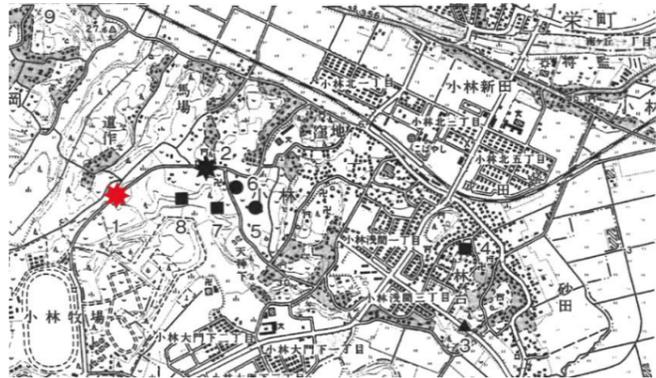


印西市 道作1号墳 現地説明会資料

主催：印西市教育委員会生涯学習課・（公財）印旛郡市文化財センター

平成30年7月21日（土）

資料作成：（公財）印旛郡市文化財センター



- 1. 道作古墳群（赤丸）
- 4. 小林古墳群
- 7. 駒形古墳
- 8. 馬場古墳

印旛郡市文化財センター『道作1号墳（第2次）』より

図1 周辺の古墳群

※各古墳の内容

道作古墳群 前方後円墳7基・円墳13基

駒形古墳 前方後円墳2基

小林古墳群 円墳4基 うち鶴塚古墳からは壺形の特殊埴輪が出土

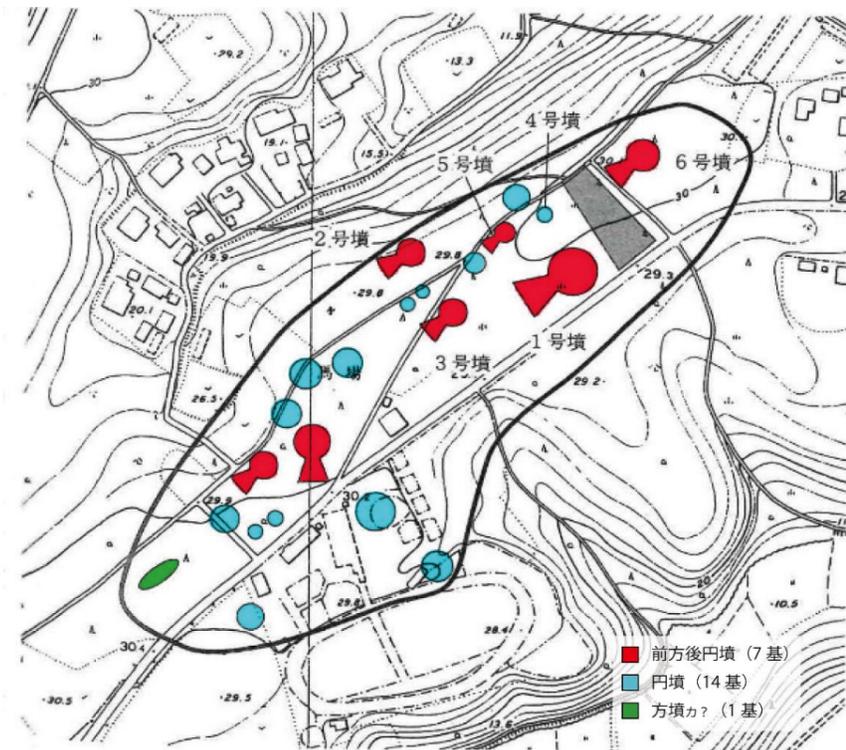


図2 道作1号墳



図3 道作1号墳空撮写真（H29年度撮影）

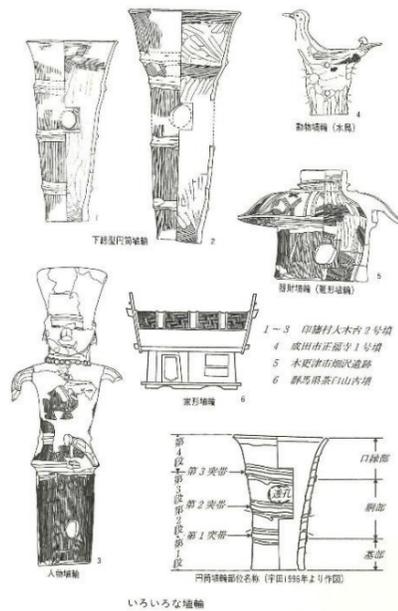


図4 埴輪の種類

※道作古墳群の各古墳の大きさ

番号	規模（全長）	墳形	備考
1号墳	46m（66m）	前方後円墳	下総形円筒埴輪・周溝有・埋葬施設有
2号墳	36m	前方後円墳	
3号墳	30.5m	前方後円墳	下総形円筒埴輪
4号墳	11m	円墳	周溝有
5号墳	15m（推定）	前方後円墳	周溝有
6号墳	37m	前方後円墳	周溝有・鉄斧出土

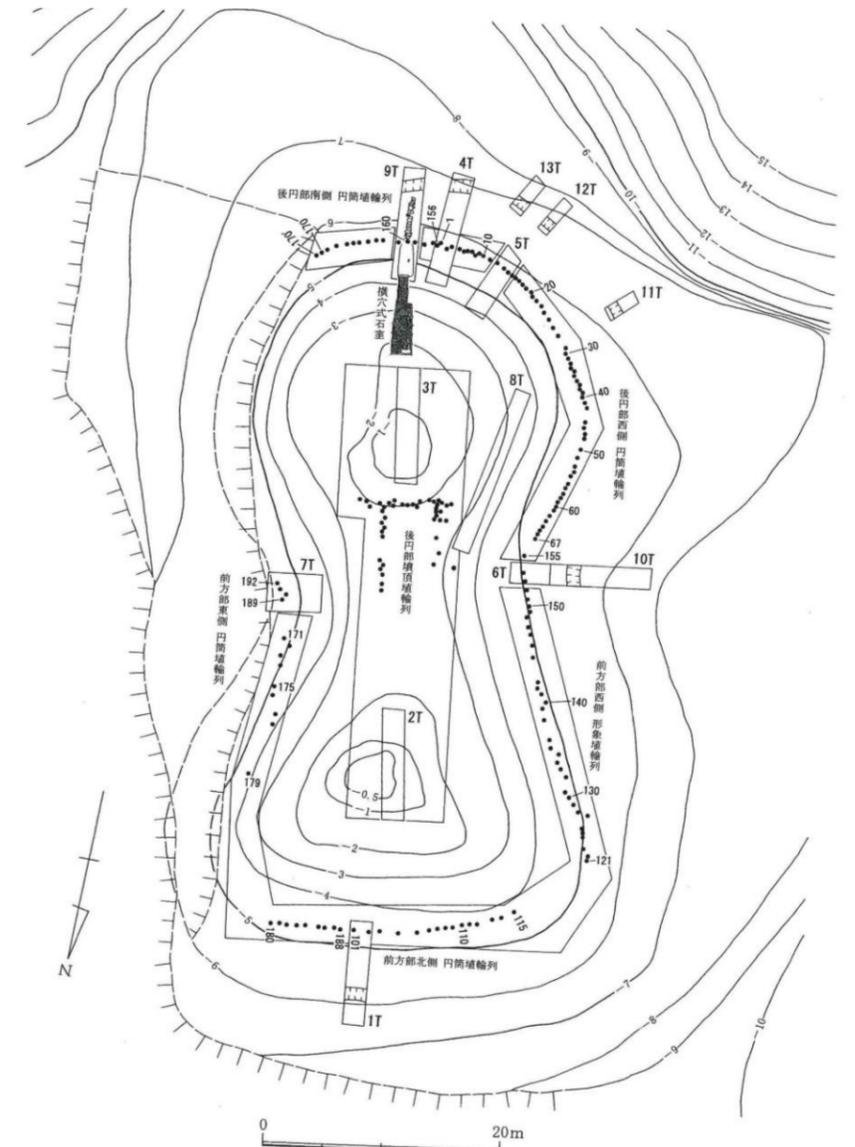
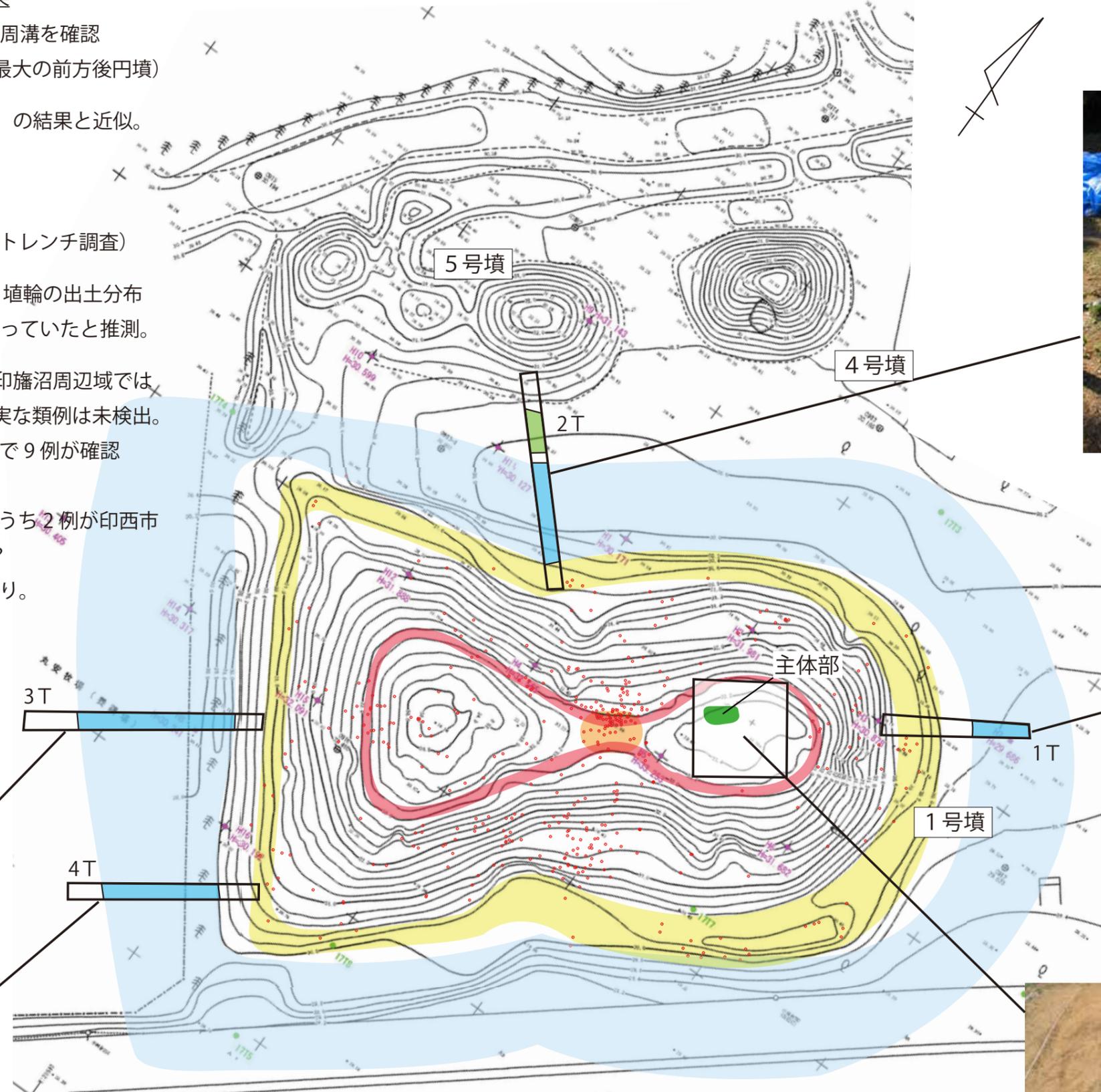


図5 城山1号墳トレンチおよび埴輪列全体図

（『埴輪研究会誌』第15号 犬木氏論考より引用）

平成30年度 道作1号墳（第2次）発掘調査成果

- 古墳南西部（第3・第4トレンチ）で幅10m程度の周溝を確認
⇒道作1号墳の推定全長66m（現状印旛沼西岸域で最大の前方後円墳）
- 南西部周溝の下面は地中レーダー探査（昨年度実施）の結果と近似。
⇒周溝部においても探査の有効性が立証
- 周溝の形状 従来の想定…盾形
今回の調査結果…墳丘相似形（第2トレンチ調査）
- 墳丘部より多量の埴輪片が確認（すべて円筒埴輪）。埴輪の出土分布図からは墳頂部に1列、墳裾部に1列の埴輪列が巡っていたと推測。
- 前方後円墳の後円部墳頂に箱式石棺を埋置する例は印旛沼周辺域では吉高山王古墳（石棺の抜き取り痕が確認）のみ、確実な類例は未検出。
※ただし利根川（鬼怒川）南岸で5例、霞ヶ浦沿岸で9例が確認
⇒「香取海」圏における墓制か？
埴輪を伴う後期古墳は千葉県域ではわずか3例（うち2例が印西市内）。墳丘埋葬は墳裾埋葬（常総型古墳）に先行？
⇒古墳の築造時期は6世紀中ごろまで遡る可能性あり。



2号トレンチ完掘状況



1号トレンチ完掘状況



3号トレンチ完掘状況



4号トレンチ完掘状況



後円部墳頂石棺出土状況

	1号墳周溝範囲（推定）		埴輪列 上段（推定）
	1号墳周溝検出範囲		埴輪列 後円部墳頂（推定）
	5号墳周溝検出範囲		埴輪列 下段（推定）
			埴輪片

市道00-111号線
S=1/300